海だぞおっ！

元気に泳いだ日の見えぬ子等

“人出ざっと五千人”

海開き、天気に恵まれ

「光のプレゼント運動協力委員会」が行なっている、目の不自由な子らの海岸への招待が、今年も木戸海岸で実施されました。三年目を迎えた今年は、千葉県立盲学校の生徒一四四名が七月十五日に訪れ、先ず白浜小学校で、交換会を行いました。白浜小生徒が鼓笛隊で迎え、盲学校生徒が校歌でこたえ、良い子たちの作品をそれぞれ交換し合いました。

一行はそのあと、木戸海岸の「商工会海の家」にくつろぎ、食事ももどかしく待ちかねたように海へ入りました。

めずらしい海にあそぎする子、勢いよくとびこむ生徒、いづれも、汐の香りと砂浜の感触をすっかり楽しみました。不幸な境遇にあっても、生徒たちの表情は思いがけない明るさがあり、この招待の実施を依頼された町の職員たちもびっくりする程でした。午後二時半に帰葉した生徒たちは、きっと楽しかったことでしょう。

木戸海岸の一日を忘れることがないでしょう。

（この事業については、教育委員会、白浜小学校、社福白浜支部、商工会の皆さんのご協力を得ました）

うっとうしい梅雨空が晴れ、去る十七日木戸海岸の海開きが行なわれた。申し分ない天気に恵まれ各地からくり出すカッパ連や、家族連れで人出は「ざっと五千人あまり、文字通り人の海と言ったところ、砂浜で甲を焼く者、波とたわむれる者、キャーキャーはしゃぐ子供達、それぞれ海を楽しんでいた。

そなえはじゅう分ですか

夏の健康を守りましょう

七月から九月まで、県下で一せいに「夏の健康を守る運動」が実施されています。健康づくりを積極的にすすめ、町民の皆さんが健康で明るい生活環境によって、夏に発生する病気ことに多い伝染病を予防し、また食品衛生にじゅう分注意して食中毒を防ぎ、よわりがちな夏の体力を皆さん自身の手で守りましょう。

「夏の健康を守る運動」の方法は、

一、赤痢、日本脳炎、小児マヒ、腸チフス、パラチフス及び食中毒の予防と防止。

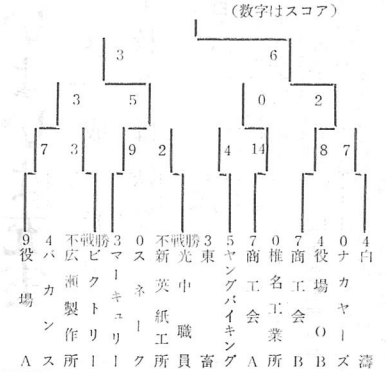
二、食品衛生の向上と栄養を充分にとる。

三、はえや、蚊、ごきぶり等害虫の協同防除。

四、汚物の衛生的な処理で、これらのことを一人一人が注意し、実行し合って健康で、明るい環境をつくり、この夏をたのしくすごしましょう。

光町軟式野球大会成績

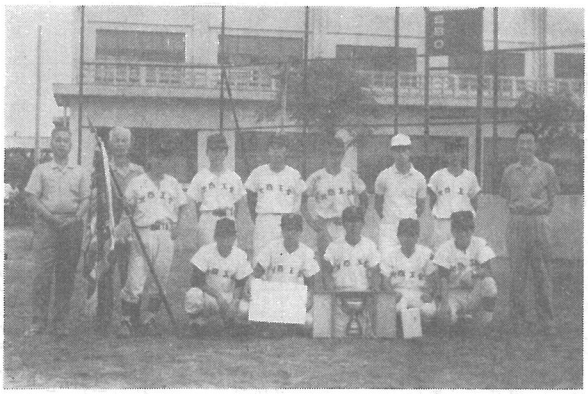
（数字はスコア）



商工会Bチームに栄冠

軟式野球大会閉じる

光町軟式野球連盟主催によるこの大会も第四回を迎へ、青年研修所のグランドで、五日間の日程で開催されました。最初の十二チームから回を重ねることにチームが増へ、今回は十六チームが参加して優勝を目ざして競いました。各チームとも持てる力を十二分に発揮して戦った結果、商工会Bチームが初優勝を飾りました。最優勝はマーキュリーチーム（二回目）



▼年金だより

適用もれの方はすぐ役場へ

国民年金は、内容をよくする為、幾度の改正が行なわれました。夫婦で月額一万円年金が実現するようになりました。何かの理由や、都合でまだ年金に加入していない方々があることと思はれますが、この制度が、はじまってからもう五年を過ぎております。このままにしておきますと、将来　となりの人や　知人が年金を受けられるのに、あなただけが年金を受けられないことになりますので、今すぐ加入の手続きをして安心した生活を送って下さい。

適用対象者の区分は次のとおりで、適用もれ者とは昭和十一年三月三十一日から昭和四十五年十月一日までに、国民年金の被保険者として加入すべき、明治四十四年四月二日から昭和二十一年四月一日までに生まれた者をいいます。

国民健康保険と交通事故

毎日新聞に交通事故の記事が絶えません。交通事故は、被害者になっても加害者になってもほんとうに後味のわるいものです。

万一皆さんが交通事故にあったとき、国民健康保険を使う場合は次のことに注意して下さい。

◎交通事故でも保険証は使用できます。

◎示談等はあせらず、負傷の程度を医師等によくきいてから。

◎示談が成立して　損害賠償がなされた時には、もし治療に国民健康保険を利用していた場合はその額は町に返還することになります。

◎交通事故に会って国民健康保険を利用するときは民生課の国保係に相談して下さい。

◎示談屋など悪質な第三者に入られることのないよう注意しましょう。

●台風に備えましょう

ことしも台風シーズンがやってきました。いざというときに備えて万全の準備が必要です。台風がきてしまってからあわてるのでなく、台風が近づいたらすぐ行動にうつれるよう次の事に注意しましょう。

○テレビ、ラジオ放送に注意し、状況をよく知ること。

○窓や戸を釘づけにしたり、かんぬきをしたり、屋根瓦、看板、煙突などのように倒れたり、飛んだりするおそれのあるものは注意して補強すること。

○停電に備えて、懐中電灯やローソク、マッチなどをきまった場所に用意しておくこと。

○避難の時に備え、貴重品は一まとめにして、いつでも持ち出せるようにしておくこと。

○簡単な応急医療品や下着、乳児のオシメや粉ミルクなどをポリエチレン等防水のできる袋に入れて用意すること。

○家族の一食分ぐらいの握り飯、一日分の米、カンヅメなどを用意し、水とうには水やお湯を入れておくこと。

○避難するときは、家が倒れて火事にならないように火の始末をするとと共に、ガスの元栓をよくしめておくこと。また盗難に備えて戸締りは十分してから避難すること。

○避難道路を選ぶには、できるだけ大きな道路にし、特に夜間は注意すること。

○避難のときは、とんでくる瓦やガラス、木の枝等をさけるため、座ぶとんなどで頭を包み、ミゾやマンホールなどに注意すること。

○災害や混乱の際には、色々のデマがとびやすいので、迷わず責任ある人の指導に従って、行動すること。

以上は台風に備えて特に準備したり、注意することをのべましたので、参考にしていただき度いと思います。

❖よい子の作品❖

白浜小四年　椎名和子

白浜小三年　伊藤新一

編集後記

真夏の太陽の下、光中ブール落成、満々とたたえられた水は河童の天下だ。やがて第二、第三の前畑や、フジやまのとびうをの出現が期待される。

目は見えねど、磯の香をかぎとり、海だ、海だ、と喜々とする。光にめぐまれない子等に幸多かれと祈らずにはいられない。